

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-プロモフェノールのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験

試験番号

7 B 7 6 7 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年4月採択）の改訂版であるガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」（1997年4月提案）に準拠して実施した。

- 1)被験物質： *p*-プロモフェノール
- 2)暴露方式： 半止水式（0,2,4,6,8,10日目と12日目以降毎日，試験液の全量を交換）
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 21日間
- 5)試験濃度(設定値)： 対照区，0.080，0.200，0.560，1.50，4.00 mg/L（公比 2.7）
- 6)試験液量： 1 容器（連）につき 80 mL
- 7)連数： 10容器（連）／濃度区
- 8)供試生物数： 10頭／濃度区（1 連につき 1 頭）
- 9)試験温度： 20±1℃
- 10)照明： 16時間明／8時間暗
- 11)被験物質の分析： H P L C 法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

暴露期間中に測定した試験液の調製時および換水前の被験物質濃度が、設定値の±20%を越えたため、各影響濃度の算出には実測値（時間加重平均値）を採用した。

2) 21 日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :

>3.68 mg/L

3) 21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (EC50) :

1.81 mg/L (95%信頼限界 : 1.59~2.09 mg/L)

4) 21 日間の最大無作用濃度 (NOEC) :

0.297 mg/L

5) 21 日間の最小作用濃度 (LOEC) :

1.13 mg/L